
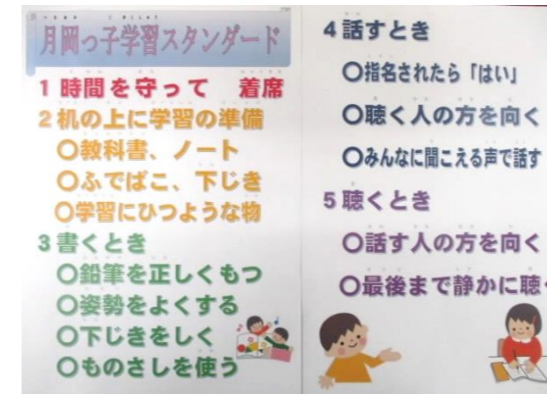


研修成果の活用レポート/NITS 大賞エントリーシート	※事務局記入欄 受理No. : D-89
【学校名・氏名】 富山市立月岡小学校 荒屋 輝久	【応募部門】 校内研修プログラム 開発・実践部門
【修了研修名】 平成30年度 第3回副校長・教頭等研修	
【活動名】 継続した教育活動の推進 ～9年間の小・中連携～	
解決すべき課題： 中1ギャップを生みず、スムーズに中学校生活に入っていけるようにするために、一小・一中の環境を生かし、小・中の連携を密にして、9年間継続した教育活動を行っていく。	
目標・方針： <ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中学校9年間の学びを円滑にするとともに、小・中学校それぞれの学習内容や指導法を教職員が互いに学び合うことを通して、児童・生徒の学力向上を図る。 ○ 児童・生徒の学習や生活の状況について、教職員が互いに情報交換することを通して、児童・生徒の理解を深め、健全育成を図る。 	
活動内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ 企画委員会 年度当初に、小・中学校の校長・教頭・教務主任が集まり、各校の現状・取組について話し合う。また、小・中連携として取り組んでいく今年度の重点について検討する。 ○ 小・中合同研究会  <p>小・中学校の教員が一堂に会して行う。 学力面、生徒指導面から、児童・生徒の実態と各校の実践内容について報告する。 その後、人間関係づくり、学習規律、学習意欲・学力向上、ネット利用とネットトラブルに関する現状と指導、家庭との連携（生活習慣・家庭学習）、個別に支援の必要な児童・生徒への対応といったテーマで、グループ協議を行う。</p> ○ 学校行事の相互参観 学習参観、学習発表会、学校公開日、学校訪問研修会等において、教員が相互訪問し、授業・活動を参観する。各自が参観で得たことを、日々の実践に生かす。 	

- 小学校土曜事業への中学生の参加
 小学校で行うプログラミング活動や外国語活動にアシスタントとして中学生の参加を呼びかける。参加児童・生徒の交流を図るとともに、素敵な先輩の存在を感じられるようにする。



- 学習規律の共有



中学校が、生徒に身に付けさせたい学習規律についてまとめた「月中スタンダード」をもとにして、小学校でも「月岡っ子スタンダード」を作成し、指導に生かす。小・中で一貫した指導が行えるよう配慮する。

- メディアコントロールウィーク・家庭学習重点ウィークの合同実施
 小・中それぞれで行っていたメディアコントロールウィーク・家庭学習重点ウィークを、中学校の定期考査の時期に合わせ、実施する。同じ時期に行うことで、小・中で兄弟姉妹のいる家庭では、より実践が広まることを期待する。
- メディアルールの共有化
 小学校で、平成31年2月に6年生の児童を中心に作成したメディアルールを、中学校生徒会執行部で取り上げてもらい、中学校でも広めてもらう。


活動の成果：

- 学習規律等を共有化したことにより、不安が少なく中学校生活をスタートできるようになった。また、教職員、児童・生徒ともに9年間を見通して、活動できるようになった。
- 小・中で、教員間の垣根が低くなり、相互交流や児童生徒の情報共有等、様々な面で連携が図られるようになった。
- メディアコントロールウィーク・家庭学習重点ウィークの実施により、家庭での指導、家庭への呼びかけが効率的に行えるようになった。

アピールポイント（アイデアや工夫）：

- 「共有」「継続」をキーワードに（教職員の意識・学習規律・メディアルール等）
- 9年間を意識した教育実践